

県無形民俗文化財 ちんこんかん

指定 昭和34年 沼田町

守り・伝える・文化財 ⑤



▲ 破魔弓を持った大鬼は力強く、六尺棒を繰り出す
小鬼はリズムカルに踊ります

無形民俗文化財とは、衣食住、仕事、信仰や年中行事などに関係する風俗慣習、民俗芸能などをいいます。沼田町の「ちんこんかん」は、鎌倉時代の武将土肥實平が、関東から雨乞いの風習を伝えたことが始まりといわれ、その後、農耕などに使う牛の安全を祈り、死んだ牛の霊を鎮め、そして稲作害虫の侵入を防ぐ「虫送り」の趣旨も加わりました。「ちんこんかん」とは鉦の音色とも、干ばつに強い竹の根も乾く、「竹・根・乾」からともいわれています。毎年8月16日、新倉町の牛神社（大須賀神社）の例祭日、午前7時に沼田町内を出発し、随所で打ちながら長谷町、新倉町と進み、午後1時

から牛神社で、いずれも市指定無形民俗文化財の小坂チンコンカン踊り、宗郷町太鼓踊り、田野浦・明神の八ツ頭チコカン踊りとともに順番に奉納します。

大鬼の「ヤケ」は赤い衣装に鬼面をつけ、2人の小鬼は「棒振り」といいます。「鉦」は2人で棒に吊って打ち、「太鼓」二張は10人が交代で打ち、柄付の締太鼓である「八ツバチ」は手に持ち、8人がステップを踏みながらたたきます。いずれもそろいの浴衣や法被に、飾りつけた帽子をつけます。「幟」と列の前後に「宰領」が1人ずつつき、26人で構成されま

す。調和のとれた動きと澄んだ鉦の音色は、見る人・聞く人の魂を揺さぶるものがあります。昭和57年に結成された沼田町ちんこんかん踊り保存会会長の川保満馬さんは、「ちんこんかんをこれからも永く守り伝えることで、地区の発展につなげていきたいですね。沼田小学校の子どもたちが受け継いでくれます。うれしいですね。」と話してくれました。



沼田町
ちんこんかん踊り保存会会長
川保 満馬さん
問い合わせ先
生涯学習課(☎0848④2137)

税の納期

- ◎市県民税普通徴収(第2期)
- ◎国民健康保険税(第2期)
- ◎介護保険料普通徴収(第2期)

納期限 8月31日(金)
※税金・保険料は納期限までに納めましょう。

だるま制作体験教室

①だるま制作体験教室
とき 1日(水)・8日(水)・29日(水) 10時~12時
②だるま面相書教室
とき 22日(水) 10時~12時
ところ いずれも三原だるま工房(港町一丁目)
対象 市内に在住、勤務、在学している人
定員 各8人(申し込み先着順)
参加料 500円
申し込み先 三原観光協会
(☎0848⑧1481 FAX 0848⑦5911)

市民憲章

わたしたちは、海・山・空、夢ひらくまち三原をめざして、この憲章を定めます。

- 一 豊かな自然をいかし、美しいまちにしましょう。
- 一 歴史と文化を大切に、人をはぐくむまちにしましょう。
- 一 みんなで助け合い、人がふれあうまちにしましょう。
- 一 心もからだも健康で、明るいまちにしましょう。
- 一 楽しく働き、活力あるまちにしましょう。

三原市の人口

(6月30日現在)

世帯数	43,720世帯 (+468)
人口	104,985人 (-353)
男	50,420人 (-89)
女	54,565人 (-264)

()内は前年同月との比較



あ・と・が・き
夏の全国高校野球選手権大会の取材に行ってきた。球場に入ってまず驚いたのは、高校生やスタッフの人たちの元気良いあいさつ。大きな声のさわやかな「おはようございます」や「お疲れさまです」が、あちらこちらから聞こえます。高校野球といえば、選手たちのプレーやスタンドからの声援が印象的ですが、それに加えて多くのスタッフの支えがあって素晴らしい大会になっているのだなと改めて感じました。試合も高校生らしい全力プレー。普段、テレビを通してしかスポーツを観ていない私にとって、生で観る試合の迫力は何か別物に思えました。こうしたプレーも日頃の練習があったからこそ、そう感じた取材でした。(あ)

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。